長町病院　クリニカルインディケーター（臨床指標）

クリニカルインディケーター（臨床指標）とは、病院の機能や診療の状況などについて、様々な指標を用いて具体的な数値として示したものです。指標を分析し、改善を促すことにより、医療の質の向上を図るとともに、患者さんにとって分かりやすい医療情報を提供することを目的としています。

〇印の臨床指標は長町病院の独自項目です。

また、当院は、差額室料（差額ベット代）をいただかず、＊無料低額診療事業を実施しています。地域連携・医療相談室の医療ソーシャルワーカーが相談窓口となっています。

1. 病院全体の指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
延べ入院・外来患者数 平均在院日数 病床利用率(運用病床)	44,660 人	44,309 人	44,556 人	45,687 人	46,039 人	延べ入院患者数：退院患者数＋当日末在院患者数	1年間の延べ入院患者及び1年間の延べ外来患者数です。
	39,029 人	37,542 人	35,599 人	36,324 人	35,698 人	延べ外来患者数：初診患者数＋再診患者数	
	一般病床					平均在院日数：延在院患者数÷（（新入院患者数＋退院患者数）÷2）※地域包括病床を除く	1人の患者さんが平均何日間入院しているのかを示す指標です。地域の医療機関や介護事業所と連携などによって、短期間で退院できるように努めています。
	17.4 日	18.1 日	18.8 日	17.4 日	16.6 日		
	回復期リハビリ病床						
	79.2 日	75.1 日	83.2 日	81.3 日	82.8 日		
	（一般病床）					病床利用率：延入院患者数÷延運用病床数×100（病床機能報告制度の区分）	病床利用率とは運用病床数（当院は許可病床すべて運用）に対し入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標であり、病床利用率が高いことは、ベットを効率的に運用していることを表しています。病床の機能により違いがあるため、一般、回復期リハ病床別に率を出しています。
	74.07 %	81.33 %	77.72 %	79.50 %	80.24 %		
	（回復期リハⅠ）						
	93.67 %	91.52 %	94.06 %	94.69 %	97.16 %		
	（回復期リハⅡ）						
	算定なし %	算定なし %	算定なし %	算定なし %	算定なし %		
〇在宅療養支援病院　訪問診療等の訪問数	1,632 件	1,921 件	1,267 件	1,039 件	1,246 件	在宅管理患者宅に訪問した件数（連携する訪問看護の訪問数含む）7月1日統計	当院は在宅療養支援病院となっています。契約した在宅管理患者さんのお宅に訪問診療を実施しています。
剖検率	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	年間剖検数÷年間患者死亡数	当院で死亡された患者さんの中で病理解剖された割合。死亡の原因や治療の効果を確かめ、今後の医療に役立てていく意義があります。
CPC(臨床病理検討会)実施件数	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	年度内の開催実績数	医療の質向上を図るために行っている、勉強会の1つであるCPC（臨床病理検討会）を開催した件数です。
クリニカルパス実施状況	50.06 %	45.21 %	46.57 %	45.22 %	45.79 %	実施率：パス運用件数÷新入院患者数	入院から退院までの治療や処置、検査、看護などのスケジュールを時系列に示したクリニカルパスの作成を通じて、わかりやすく均質で無駄のない医療の提供に努めています。
〇原発被爆検診エコー画像検討会実施件数	6 件	5 件	2 件	5 件	3 件	年度内の開催実績数	福島県双葉町・浪江町からの委託で原発被害者の甲状腺エコー検診および相談を実施しています。読影検討会を複数医師と検査技師とで開催した件数です。
〇慢性疾患管理登録患者数	3,827 人	3,728 人	3,555 人	3,579 人	3,536 人	定期的通院患者で管理登録実施数	わが国では、高齢化、核家族化（独居の増加）が進む中、複合疾患をもち、重症化した慢性疾患を有する方が増えています。このような方の安心、安全な療養を実現するために、当院では、かかりつけ患者さんの中で定期的な通院が必要な患者さんを登録させていただき、他職種協働で支援させていただいています。
〇通所リハビリ患者数	7,285 人	7,294 人	6,062 人	5,521 人	5,514 人	延べ患者数（利用者数）	1年間の延べ通所リハビリテーション利用者数です。
〇訪問リハビリ患者数	6,119 人	6,327 人	6,367 人	7,334 人	6,900 人	延べ患者数（利用者数）	1年間の延べ訪問リハビリテーション利用者数です。
〇乳児健診数	29 人	43 人	68 人	90 人	91 人	自治体の公費による乳児健診実施数	小児科で実施しています公費による乳児健診の実施数です。
〇小児予防接種実施件数	260 人	395 人	504 人	721 人	690 人	自治体の公費による小児科対象の予防接種実施数	小児科で実施しています公費による予防接種の実施数です。
〇健診数	3,447 人	3,119 人	3,752 人	4,509 人	4,539 人	健診実施数	被曝者健診、自治体健診はじめ各種健診を実施しています。健診パスも所有し、外部健診も実施しています。

2. 診療科目に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
疾病別患者数及び平均在院日数							
（A00～B99）感染症・寄生虫症	34 人 在院日数 10.6 日	18 在院日数 32.7 日	13 在院日数 23.5 日	11 在院日数 14.5 日	16 人 在院日数 29.7 日	ICD10の大分類に基づいた疾病別の退院患者件数及び平均在日数	世界保健機関(WHO)が設定した、国際的な分類に基づいて、取り扱った疾病数です。
（C00～D48）新生物	25 人 在院日数 26.8 日	26 人 在院日数 35.3 日	34 人 在院日数 37.4 日	19 人 在院日数 48.9 日	15 人 在院日数 27.5 日		
（D50～D89）血液・造血器・免疫機構の障害	13 人 在院日数 11.5 日	9 人 在院日数 19.8 日	9 人 在院日数 26.8 日	6 人 在院日数 20.8 日	1 人 在院日数 19.0 日		
（E00～E91）内分泌・栄養・代謝	85 人 在院日数 20.4 日	73 人 在院日数 27.7 日	59 人 在院日数 22.1 日	51 人 在院日数 22.4 日	33 人 在院日数 22.4 日		
（F00～F99）精神及び行動の障害	3 人 在院日数 33.0 日	3 人 在院日数 31.3 日	4 人 在院日数 60.5 日	0 人 在院日数 0.0 日	2 人 在院日数 41.5 日		
（G00～G99）神経系の障害	42 人 在院日数 46.8 日	35 人 在院日数 49.3 日	43 人 在院日数 44.1 日	43 人 在院日数 68.2 日	43 人 在院日数 43.3 日		
（H00～H59）眼及び付属器	0 人 在院日数 0.0 日	1 人 在院日数 58.0 日	0 人 在院日数 0.0 日	0 人 在院日数 0.0 日	0 人 在院日数 0.0 日		

（H60～H95） 耳及び乳様突起	7 人 在院日数 5.9 日	5 人 在院日数 22.4 日	1 人 在院日数 31.0 日	3 人 在院日数 11.7 日	1 人 在院日数 9.0 日		＊脳血管疾患は I60～循環器系に含まれます。
（I00～I99） 循環器系	296 人 在院日数 76.9 日	322 人 在院日数 76.8 日	290 人 在院日数 85.6 日	257 人 在院日数 82.0 日	280 人 在院日数 84.6 日		
（J00～J99） 呼吸器系	118 人 在院日数 22.9 日	68 人 在院日数 30.7 日	80 人 在院日数 31.8 日	96 人 在院日数 28.7 日	112 人 在院日数 26.6 日		
（K00～K93） 消化器系	37 人 在院日数 24.1 日	54 人 在院日数 21.6 日	27 人 在院日数 19.3 日	42 人 在院日数 21.6 日	37 人 在院日数 29.2 日		
（L00～L99） 皮膚及び皮下組織	15 人 在院日数 17.0 日	11 人 在院日数 36.1 日	5 人 在院日数 38.6 日	6 人 在院日数 35.8 日	4 人 在院日数 23.0 日		
（M00～M99） 筋骨格系及び結合組織	60 人 在院日数 50.4 日	59 人 在院日数 52.4 日	66 人 在院日数 49.8 日	61 人 在院日数 53.8 日	56 人 在院日数 57.5 日		
（N00～N99） 尿路性器系	54 人 在院日数 22.4 日	46 人 在院日数 19.2 日	32 人 在院日数 24.9 日	37 人 在院日数 21.4 日	36 人 在院日数 24.5 日		
（Q00～Q69） 先天奇形・変形および染色体異常	0 人 在院日数 0.0 日	2 人 在院日数 23.0 日	2 人 在院日数 76.5 日	0 人 在院日数 0.0 日	0 人 在院日数 0.0 日		
（R00～R99） 症状・徴候	11 人 在院日数 15.8 日	11 人 在院日数 29.1 日	14 人 在院日数 25.7 日	5 人 在院日数 55.8 日	1 人 在院日数 48.0 日		
（S00～T98） 損傷・中毒及びその他の外因	115 人 在院日数 63.4 日	109 人 在院日数 58.1 日	95 人 在院日数 64.5 日	156 人 在院日数 64.9 日	163 人 在院日数 62.2 日		
（U00～U89） 特殊目的別コード	0 人 在院日数 0.0 日	7 人 在院日数 31.7 日	2 人 在院日数 8.5 日	13 人 在院日数 51.5 日	19 人 在院日数 25.9 日		
（Z00～Z99） 健康状態に影響を及ぼす要因	7 人 在院日数 91.9 日	5.0 人 在院日数 60.4	1.0 人 在院日数 65.0	0.0 人 在院日数 0.0	0.0 人 在院日数 0.0 日		
退院患者合計	922 人	864 人	777 人	806 人	819 人		

3. がん医療に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
がん登録統計	48 件	50 件	44 件	48 件	51	「全国がん登録」による登録件数	がん登録等の推進に関する法律により、2017年度より登録しています。

4. 救急医療の指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
救急患者数(1日あたり)	2.5 人	2.0 人	2.6 人	2.6 人	2.3 人	(救急入院患者数＋救急外来患者数)／年間営業日数	かかりつけ患者受入に努めています。小児科の休日輪番日の患者数は含まれておりません。
救急搬送受入件数	172 人	133 人	151 人	145 人	129 人	救急患者のうち、来院方法が「救急車」の患者数	

5. 放射線及び検査に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
CTの検査人数	2,323 人	2,092 人	1,904 人	1,991 人	1,731 人	CTの検査患者数	CTの検査患者数です。
内視鏡検査総件数	1,145 件	1,108 件	1,175 件	1,209 件	1,243 件	内視鏡検査の件数	内視鏡検査と治療の件数です。検査については、(1)食道、胃などの上部、(2)大腸などの下部 に種類を分けております。
内視鏡検査件数上部	1,075 件	1,107 件	1,167 件	1,203 件	1,241 件		
内視鏡検査件数下部	70 件	1 件	8 件	6 件	2 件		
内視鏡検査件数生検	11 件	96 件	145 件	115 件	116 件		
○超音波検査総人数	4,700 人	4,448 人	4,132 人	4,137 人	4,087 人	超音波の検査患者数	超音波の検査患者数です。
○腹部	2,549 人	2,369 人	2,185 人	2,179 人	2,221 人	腹部エコー患者数	
○心臓	983 人	944 人	924 人	802 人	771 人	心エコー患者数	
○頸動脈	335 人	285 人	281 人	366 人	296 人	頸動脈エコー患者数	
○血管	677 人	690 人	626 人	635 人	653 人	血管エコー患者数	
○表在	156 人	160 人	116 人	155 人	146 人	表在エコー患者数	
緊急対応可能検査項目数及び緊急対応可能検査項目数の割合	検体 76 個	76 個	76 個	76 個	76 個	院内で実施する検体検査で検査科受付後60分以内の報告、および生理検査で当日報告の可能な緊急対応可能検査項目数とその割合（緊急対応可能検査項目数÷全体検査項目数×100）	院内で実施する検査のうち、救急患者や入院患者の急変などに対応し、院内で緊急に行える検査がどのくらいあるかを表しています。
	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %	100.0 %		
	生理 24 個	生理 24 個	生理 24 個	生理 24 個	生理 24 個		
	83.0 %	83.0 %	83.0 %	83.0 %	83.0 %		
緊急検査のTAT(ターンアラウンドタイム)	30分00秒	30分00秒	30分00秒	30分00秒	30分00秒	病院で実施する生化学検査における、緊急検査依頼の検査科受付から報告確定までの平均時間	TAT（ターンアラウンドタイム）とは検体が検査科に来てから検査結果が確定するまでの時間のことです。検査結果を迅速に報告することで、医師が治療方針を早期に決定することができ、医療の質向上に寄与します。
臨床検査に係る精度管理調査評価評点	日本医師会	日本医師会	日本医師会	日本医師会	日本医師会	外部精度管理における日本医師会臨床検査精度管理調査の結果（評価項目修正点数）、日本臨床検査技師会精度管理調査の結果（AB評価%）	日本医師会は、総タンパク、ブドウ糖、尿酸など検体検査40以上の検査項目について、サーベイを実施した結果の項目修正点数(100点満点）です。日臨技は、検体検査、微生物、輸血、生理、病理、細胞など180以上の評価項目について、サーベイを実施した結果の望ましいとされる評価A、評価Bの件数の割合です。
	94.0 点	97.5 点	96.3 点	96.5 点	98.8 点		
	日本臨床検査技師会	日本臨床検査技師会	日本臨床検査技師会	日本臨床検査技師会	日本臨床検査技師会		
	99.3 %	98.7 %	94.1 %	94.6 %	97.3 %		
ME機器点検実施件数	12 件	12 件	12 件	12 件	12 件	ME機器（医療機器）の日常点検、定期点検の件数（臨床工学技士実施分）職場での点検は毎日実施。	ME機器の使用時の故障を未然に防ぎ、検査の安全性を保つために、使用前や使用後及び一定の期間毎に行っている点検の件数です。

6. 薬剤に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント

服薬指導件数（入院）	56 件	150 件	131 件	109 件	125 件	入院服薬指導業務指導件数（薬剤指導・ハイリスク薬剤指導）	患者さんへの薬物療法の効果や副作用などの説明・アドバイスを通じて、患者さんの薬物療法への理解を深めるとともに、より安全で効果的な薬物療法を受けられるよう薬剤師が活動した件数です。
ジェネリック使用率	91.8 %	91.3 %	91.1 %	94.5 %	96.3 %	「後発医薬品の数量」／（「後発医薬品のある先発医薬品の数量」＋「後発医薬品の数量」）※数量とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。	当院における入院医療で使用される全薬剤のうちジェネリック（後発医薬品）の割合です。ジェネリックは開発コストが大幅に削減されているため、先発医薬品に比べると安価になるなどの特徴があります。
薬剤師による抗がん剤等のミキシング数 (処方箋枚数)	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	抗がん剤ミキシング件数	薬剤師が安全キャビネットなどを使用して、抗がん剤のミキシングを行った処方箋枚数です。

7. 栄養に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
栄養指導件数　個別	1,183 件	1,064 件	924 件	1,045 件	1,010 件	個別栄養食事指導件数、集団栄養食事指導回数及び人数(医療活動統計より)	患者さんに対して、医師の指示により管理栄養士が食事療法について説明し、食生活改善の支援を行っております。個人の生活スタイルに合わせた個別指導を外来及び入院で行っています。
栄養指導件数　集団	0 回	0 回	0 回	0 回	0 回		
	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件		
栄養サポートチーム（NST)活動件数	回診回数	回診回数	回診回数	回診回数	回診回数	栄養サポートチーム（NST）回診回数・回診延人数	栄養サポートチーム（NST）とは栄養管理を医師、看護師、薬剤師、リハビリ、管理栄養士、歯科衛生士など様々な職種によって支援・実施するチーム医療のことです。定期的にメンバーによる回診等を行い、患者さんの状況を確認して適切な栄養療法を検討しています。
	48 回	73 回	58 回	69 回	56 回		
	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数	延べ人数		
	308 人	261 人	217 人	236 人	220 人		
お楽しみ食提供回数	11 回	11 回	11 回	11 回	11 回	お楽しみ食提供回数（年間）	献立に祝祭日や季節感を取り入れるなど、お楽しみ食のメニューを充実させることで、患者さんへ憩いのひと時を提供し、患者さんの視点に立ったサービスを提供しています。

8. 看護に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
褥創発生率	1.2 %	0.7 %	1.4 %	1.1 %	1.4 %	[院内褥瘡発生数／（当月の新入院患者数＋前月終日日在患者数)]×100	褥瘡とは、長時間の圧迫などにより皮膚が循環障害を起こし傷となる、いわゆる「床ずれ」の状態をいいます。当院では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など様々な職種により構成される褥瘡対策チームが中心となり治療・ケアをして褥瘡発生防止に努めています。この褥瘡発生率は看護ケアの質評価の重要な指標とされています。
常勤看護師の離職率	10.4 %	11.1 %	24.5 %	8.0 %	19.0 %	常勤看護職員離職率＝当該年度退職者数／当該年度平均常勤職員数×100 平均職員数＝（年度当初の在籍職員数＋年度末の在籍職員数）÷2 ※常勤看護職員離職率には、新卒者の離職も含む ※離職には定年退職を含む。	看護師離職率が低いことは、病院に慣れた看護師により安定的かつ質の高い看護が提供されているとともに、看護師にとっても働きやすい環境であることを表しています。
患者･家族のケア満足度入院	76.9 %	65.7 %	76.9 %	89.8 %	81.0 %	患者満足度調査における入院･外来(平均)のケア満足度	入院、外来の患者さんに当院の看護師の対応についてアンケートを行った際に、「十分」、「ほぼ十分」と答えた方の割合です。今後も高いケア満足度を目指して医療サービスの向上を図っていきます。
患者･家族のケア満足度外来	80.7 %	80.5 %	80.5 %	82.7 %	72.9 %		

9. 医療安全に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
転倒・転落率	6.2 ‰	5.3 ‰	3.7 ‰	4.2 ‰	3.9 ‰	インシデント･アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数／期間中の入院述べ患者数×1000	入院している患者さんの中には年齢や病気の影響により、転倒したり、ベッドなどから転落したりする可能性が高い方もいます。転倒・転落の原因や要因について分析等を行い、予防策を講じて、転倒・転落を防いでいます。
医療安全研修	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	年度内の開催実績数	職員の医療安全意識の向上を図るとともに、病院全体の医療安全を向上させることを目的とし、医療安全研修や情報セキュリティーに関する研修を実施しています。
情報セキュリティー研修	1 回	1 回	1 回	1 回	1 回		

10. 地域連携･相談業務に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
紹介率 （外来）	11.0 %	11.0 %	4.5 %	2.8 %	2.6 %	地域医療支援病院の紹介率、逆紹介率の算出基準を用いる ・紹介率 （初診紹介患者数＋救急患者数）/初診患者数×100 ・逆紹介率 （逆紹介患者数/初診患者数＋再診患者数）×1000	外来機能として、他の病院または診療所から紹介状により紹介された患者さんの割合(紹介率)及び当院から他の病院または診療所に紹介した人の割合(逆紹介率)です。
逆紹介率 （外来）	80.0 %	68.0 %	36.1 %	33.6 %	32.8 %		
紹介率 （入院･リハ科）	97.0 %	98.8 %	98.1 %	98.4 %	99.5 %	リハビリテーション科紹介患者数/新規入院患者	入院機能としての紹介割合です。回復期リハビリテーション病棟はほぼ100%他医療機関からの紹介となってます。内科も随時地域の医療機関・介護施設と連携できるよう受入体制を整えてきました。今後も地域で信頼される病院作りに努めています。
紹介率 （入院･内科）	35.2 %	39 %	46.9 %	46.6 %	52.7 %	内科紹介患者数/新規入院患者	

地域連携パス実施数	2 個	2 個	2 個	2 個	2 個	地域連携パスごとの使用患者数	患者さんの病気の回復過程に応じて、急性期・回復期・維持期・在宅療養における治療と必要な情報が切れ目なく推進するための診療計画を作成し、治療を受けるすべての医療機関で共有して用いています。診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者さんが安心して医療を受けることができるよう努めています。
大腿骨頸部骨折	57 人	36 人	40 人	45 人	32 人		
脳卒中	77 人	56 人	68 人	69 人	81 人		
医療従事者等研修会開催数	5.0 回	8.0 回	8.0 回	18.0 回	23.0 回	地域開放講座等の講演会の開催件数、	地域支援病院ではなく、連携医師数・高額機器の連携医との共同利用は集計していません。 地域の医療機関・関係団体への情報提供等（病院たよりは3,300部を年6回発行、2024年度11月より3,000部）を実施しています。
広報誌発行部数	19,800 部	19,800 部	19,800 部	19,800 部	18,900 部	広報誌（病院だより、医師プロフィールなどの情報）発行部数	
○地域住民等医療講演会開催数	11.0 回	16.0 回	21.0 回	30.0 回	40.0 回	地域住民を対象とした医療講演会の開催数	地域の住民への公開講演会・情報提供等（友の会たよりは年6回発行）を積極的に実施しています。
○地域住民等広報誌発行部数	12.0 部	12.0 部	12.0 部	12.0 部	12.0 部	広報誌（友の会たより）発行部数	
○在宅療養支援病院連携訪問看護ステーション数	21.0 件	23.0 件	24.0 件	22.0 件	13.0 件	24時間365日連携している訪問看護ステーション数	連携訪問看護ステーションとして登録している地域の訪問看護ステーション事業所数
○仙台市「元気応援教室」参加数	40 回	45 回	40 回	47 回	0 回	仙台市から委託を受け、長町・郡山・富沢の3つの中学校区の高齢者を対象とした運動・口腔機能向上のための通所型介護予防事業を疾病予防運動施設のびのびで実施しています。長町・郡山・富沢地域包括支援センターから紹介された地域住民を対象としています。2024年度は委託取り下げ実施無です。	
	81 人	69 人	56 人	72 人	0 人		
○地域での健康相談会件数	2.0 回	4.0 回	6.0 回	7.0 人	4.0 回	無料での出張健康相談会の開催数、相談数。	地域の商店会などと連携し、店頭や集会室での青空健康相談会などを開催し、血圧や体脂肪チェックや医療介護相談会を実施しています。
	56.0 人	65.0 人	101.0 人	105.0 人	81.0 人		
○被災地での健康相談会件数	9.0 人	7.0 回	10.0 回	12.0 回	12.0 回	東日本大震災で被災された方々が入居されている仮設住宅などでの無料出張健康相談会を開催数（土曜日）。	東日本大震災で被災された方々が入居されている仮設住宅などでも無料での出張健康相談会を開催しています。

11．医療サービスに関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
患者満足度　入院	75.0 %	71.4 %	79.3 %	75.3 %	77.5 %	「あなたは全体としてこの病院に満足していますか。」という問いに対し「満足」「ほぼ満足」と回答した割合（入院・外来）	当院が提供する医療サービスに対して、患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの一層の充実を図るために実施しています。引き続き、高い患者満足度を維持・向上できるよう努めていきます。
患者満足度　外来	71.4 %	76.7 %	74.0 %	81.7 %	78.3 %		

12．医師・看護師・コメディカルの資格等に関する指標

指標項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	定義、指標計算方法等	説明コメント
資格認定医師、専門医師数	リハビリテーション専門医3人 リハビリテーション医学会指導責任者認定医3人 リハビリテーション医学会認定臨床医1人 日本専門医機構 リハビリテーション科専門医1名 義肢装具等適合判定医師4人 回復期リハ病棟専従医研修会終了3人 小児科専門医1人 小児感染症認定医1人 医師会認定産業医0人 プライマリケア連合学会認定医2人 プライマリケア連合学会認定指導医2人 プライマリケア連合学会認定家庭医療専門医1名 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医1人 在宅医学会認定専門医3人 内科認定医1人 消化器学会認定消化器病専門医1人 消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医1人 内科学会認定総合内科専門医1人 心療内科学会認定心療内科専門医0人 心療内科学会認定心療内科	リハビリテーション専門医5人 リハビリテーション医学会指導責任者認定医3人 リハビリテーション医学会認定臨床医1人 日本専門医機構 リハビリテーション科専門医1名 義肢装具等適合判定医師5人 回復期リハ病棟専従医研修会終了4人 小児科専門医1人 小児感染症認定医1人 医師会認定産業医1人 プライマリケア連合学会認定医2人 プライマリケア連合学会認定指導医2人 プライマリケア連合学会認定家庭医療専門医1名 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医1人 在宅医学会認定専門医3人 内科認定医2人 消化器学会認定消化器病専門医1人 消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医1人 内科学会認定総合内科専門医1人 心療内科学会認定心療内科専門医0人 心療内科学会認定心療内科	リハビリテーション専門医3人 リハビリテーション医学会指導責任者認定医3人 リハビリテーション医学会認定臨床医1人 日本専門医機構 リハビリテーション科専門医3名 義肢装具等適合判定医師3人 回復期リハ病棟専従医研修会終了5人 小児科専門医1人 小児感染症認定医1人 医師会認定産業医0人 プライマリケア連合学会認定医1人 プライマリケア連合学会認定指導医2人 プライマリケア連合学会認定家庭医療専門医1名 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医1人 在宅医学会認定専門医2人 内科認定医1人 消化器学会認定消化器病専門医1人 消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医1人 内科学会認定総合内科専門医1人 心療内科学会認定心療内科専門医0人 心療内科学会認定心療内科	リハビリテーション専門医3人 リハビリテーション医学会指導責任者認定医3人 リハビリテーション医学会認定臨床医1人 日本専門医機構 リハビリテーション科専門医4名 義肢装具等適合判定医師3人 回復期リハ病棟専従医研修会終了5人 小児科専門医1人 小児感染症認定医1人 医師会認定産業医1人 プライマリケア連合学会認定医1人 プライマリケア連合学会認定指導医2人 プライマリケア連合学会認定家庭医療専門医1名 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医0人 在宅医学会認定専門医2人 内科認定医1人 消化器学会認定消化器病専門医1人 消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医1人 内科学会認定総合内科専門医1人 心療内科学会認定心療内科専門医0人 心療内科学会認定心療内科	リハビリテーション専門医3人 リハビリテーション医学会指導責任者認定医3人 リハビリテーション医学会認定臨床医1人 日本専門医機構 リハビリテーション科専門医4名 義肢装具等適合判定医師3人 回復期リハ病棟専従医研修会終了4人 小児科専門医1人 小児感染症認定医1人 医師会認定産業医2人 プライマリケア連合学会認定医1人 プライマリケア連合学会認定指導医1人 プライマリケア連合学会認定家庭医療専門医0名 日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医1人 在宅医学会認定専門医1人 内科認定医2人 消化器学会認定消化器病専門医2人 消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医1人 内科学会認定総合内科専門医2人 心療内科学会認定心療内科専門医1人 心療内科学会認定心療内科	調査時点の人数 （常勤職員・月16日以上勤務非常勤）	当院には各学会等で認定された、高度な知識や技術、経験を持った職員がいます。より質の高い医療サービス提供のため、多くの職員が認定を取得していくよう、人材の育成に取り組んでいます。

		指導医0人 整形外科学会認定整形外科専門医0人 日本臨床神経生理学会専門医1人 日本ボツリヌス治療学会認定施注医0人 笑い療法士2級認定1人 臨床研修指導医6人 難病指定医5人 小児慢性特定疾病指定医0人 インフェクションコントロールドクター1人	指導医0人 整形外科学会認定整形外科専門医0人 日本臨床神経生理学会専門医1人 日本ボツリヌス治療学会認定施注医1人 笑い療法士2級認定1人 臨床研修指導医7人 難病指定医6人 小児慢性特定疾病指定医2人 インフェクションコントロールドクター1人	指導医0人 整形外科学会認定整形外科専門医0人 日本臨床神経生理学会専門医1人 日本ボツリヌス治療学会認定施注医1人 笑い療法士2級認定1人 臨床研修指導医5人 難病指定医6人 小児慢性特定疾病指定医2人 インフェクションコントロールドクター1人	指導医0人 整形外科学会認定整形外科専門医1人 日本臨床神経生理学会専門医1人 日本ボツリヌス治療学会認定施注医1人 笑い療法士2級認定1人 臨床研修指導医5人 難病指定医6人 小児慢性特定疾病指定医2人 インフェクションコントロールドクター1人	指導医1人 整形外科学会認定整形外科専門医1人 日本臨床神経生理学会専門医1人 日本ボツリヌス治療学会認定施注医1人 笑い療法士2級認定1人 臨床研修指導医5人 難病指定医5人 小児慢性特定疾病指定医1人 インフェクションコントロールドクター1人		
	看護部門の認定・資格・研修修了者数	認定看護管理者2名 認知症看護認定看護師1名 摂食嚥下障害看護認定看護師1名 認知症ケア専門士1名 糖尿病療養指導士1名 （宮城県2名） 在宅褥瘡管理者2名 ファーストレベル6名 セカンドレベル1名 医療安全管理者2名 呼吸療法認定士1名 介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者3名	認定看護管理者2名 認知症看護認定看護師1名 摂食嚥下障害看護認定看護師1名 認知症ケア専門士1名 糖尿病療養指導士1名 （宮城県2名） 在宅褥瘡管理者2名 ファーストレベル6名 セカンド +E172+E180	認定看護管理者1名 認知症看護認定看護師1名 摂食嚥下障害看護認定看護師1名 認知症ケア専門士1名 糖尿病療養指導士1名 （宮城県2名） 在宅褥瘡管理者2名 ファーストレベル6名 セカンドレベル1名 医療安全管理者2名 呼吸療法認定士1名 介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者3名	認定看護管理者1名 認知症看護認定看護師1名 感染制御実践看護師1名 認知症ケア専門士1名 糖尿病療養指導士3名 （宮城県2名） 在宅褥瘡管理者2名 ファーストレベル6名 セカンドレベル3名 医療安全管理者2名サードレベル1名 呼吸療法認定士1名 介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者3名 実習指導者講習修了者5名	認定看護管理者1名 認知症看護認定看護師1名 感染制御実践看護師1名 認知症ケア専門士1名 糖尿病療養指導士3名 （宮城県2名） 在宅褥瘡管理者2名 ファーストレベル6名 セカンドレベル3名 医療安全管理者2名サードレベル1名 呼吸療法認定士1名 介護プロフェッショナルキャリア段位制度評価者3名 実習指導者講習修了者5名	調査時点の人数（常勤職員）	
	コメディカル部門の認定者・専門者数（放射線・検査・薬剤師・栄養・リハビリ）	健康運動指導士2名 糖尿病療養指導士（管理栄養士2名） NST専門療法士（管理栄養士1名） 認定理学療法士（脳卒中）2名 診療情報管理士2名 放射線機器管理士2名 放射線管理士2名 超音波検査士循環器領域（臨床検査技師1名） 超音波検査士消化器領域（臨床検査技師2名） 精神保健福祉士1名 呼吸療法認定士（理学療法士1名）	認定理学療法士（脳卒中）2名 呼吸療法認定士（理学療法士1名） 超音波検査士循環器領域（臨床検査技師2名） 超音波検査士消化器領域（臨床検査技師2名）	認定理学療法士（脳卒中）2名 呼吸療法認定士（理学療法士2名） 超音波検査士循環器領域（臨床検査技師2名） 超音波検査士消化器領域（臨床検査技師2名）	認定理学療法士（脳卒中）2名 呼吸療法認定士（理学療法士2名） 超音波検査士循環器領域（臨床検査技師2名） 超音波検査士消化器領域（臨床検査技師2名）　肺がんCT検診認定技師 1名	心不全療養指導士（薬剤師1名） 認定理学療法士（脳卒中）3名（補装具）1名 呼吸療法認定士（理学療法士2名） 超音波検査士循環器領域（臨床検査技師2名） 超音波検査士消化器領域（臨床検査技師2名）　肺がんCT検診認定技師 1名	調査時点の人数（常勤職員）	

＊無料低額診療事業とは、
低所得者などに医療機関が無料または低額な料金によって診療を行う事業です。
厚生労働省は、「低所得者」「要保護者」「ホームレ ス」「DV被害者」「人身取引被害者」などの生計困難者が無料低額診療の対象と説明しています。
窓口での一部負担金免除の基準として、（１）全額免除は１ヶ月の収入が生活保護基準の 概ね120％以下（一部免除は150％以下）と内規で定め、（２）患者からの申し出や患者の生活困窮を職員が知った場合に医療ソーシャルワーカーが面談し、公的制度や 社会資源の活用の可能性を検討したうえで、適合を判定することにしています。また、この制度の適用は生活が改善するまでの一時的な措置であり、無料診療の 場合は、健康保険加入または、生活保護開始までの原則１ヶ月、最大３ヶ月（一部負担の全額減免と一部免除は６ヶ月）を基準に運用しています。